

通し番号	4 7 5 6
------	---------

分類番号	26-77-21-27
------	-------------

地域銘柄鶏における飼養方法の違いが発育に及ぼす影響	
<p>[要約] 本県の銘柄鶏の候補として検討しているシャモ833系統×岡崎おうはん(833×XSYC)、横斑プリマスロック88系統×岡崎おうはん(88×XSYC)の2種類の組合せについて、ケージ飼いと平飼いにおける発育成績を比較した。833×XSYC雄の97、96日齢の体重は平飼い区が有意に大きい、他の組合せ、日齢では区間に有意な差は認められない。飼料要求率は各組合せ、性別とも平飼い区の方が高い傾向がある。</p>	
畜産技術センター・企画指導部・企画研究課	連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

県地域銘柄鶏の作出にあたり飼養方法の違いが発育に及ぼす影響を検討するため、本県の銘柄鶏候補となっている組合せについて、ケージ飼いと平飼いにおける発育成績を比較する。

[成果の内容・特徴]

- 1 ケージ飼い区は平成25年3月5日、平飼い区は平成26年10月31日え付けで、飼養方法は表1のとおりである。ケージ飼い区は雄97日、雌97、110日で出荷、平飼い区は雄96日、雌96、110日で出荷した。
- 2 833×XSYC雄の97、96日齢の体重は平飼い区が有意に大きい( $p < 0.05$ )、他の組合せ、日齢では区間に有意な差は認められない(表2)。
- 3 飼料摂取量は平飼い区の方が多く、飼料要求率は各組合せで平飼い区の方が高い傾向である(表3)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 今回はえ付け時期の異なる雛を比較しており、飼養期間中の温度、湿度等気候条件が異なっている。

[具体的データ]

表1 試験区分、飼養方法  
ケージ飼い区

日齢	飼養方法	給与飼料	飼料成分	
0～7	立体育雛器	餌付け用	CP24%	ME3000Kcal/kg
7～28		育成前期用	CP21%	ME2900Kcal/kg
28～70	開放育成舎群飼ケージ	育成中期用	CP17.5%	ME2850Kcal/kg
70～110		育成後期用	CP14%	ME2750Kcal/kg

♂5.9羽/m<sup>2</sup>、♀11.8羽/m<sup>2</sup>

※ ケージサイズ 幅×奥行き×高さ：91×75×55cm

平飼い区

日齢	飼養方法	給与飼料	飼料成分
0～7	立体育雛器	餌付け用	CP24% ME3000Kcal/kg
7～26		育成前期用	CP21% ME2900Kcal/kg
26～70	平飼い 1区画6.2m <sup>2</sup> 7.3羽/m <sup>2</sup>	育成中期用	CP17.5% ME2850Kcal/kg
70～110		育成後期用	CP14% ME2750Kcal/kg

表 2 体重の推移

(g)

組合せ	区分	97・96		110
♂	833×XSYC	ケージ飼い区	3,100 <sup>b</sup>	
		平飼い区	3,240 <sup>a</sup>	
	88×XSYC	ケージ飼い区	3,123	
		平飼い区	3,182	
♀	833×XSYC	ケージ飼い区	2,149	2,418
		平飼い区	2,214	2,349
	88×XSYC	ケージ飼い区	2,182	2,405
		平飼い区	2,181	2,402

※同一項目内において異符号間に有意差あり (p<0.05)

表 3 飼料摂取量、飼料要求率

組合せ	区分	日齢	飼料摂取量	飼料	
			(g)	要求率	
♂	833×XSYC	ケージ飼い区	97	10,156	3.3
		平飼い区	96	11,326	3.5
	88×XSYC	ケージ飼い区	97	10,444	3.3
		平飼い区	96	10,880	3.5
♀	833×XSYC	ケージ飼い区	97	7,878	3.7
		平飼い区	96	8,358	3.8
	88×XSYC	ケージ飼い区	97	7,991	3.7
		平飼い区	96	8,298	3.9
	833×XSYC	ケージ飼い区	110	9,491	4.0
		平飼い区	110	10,048	4.3
	88×XSYC	ケージ飼い区	110	9,551	4.0
		平飼い区	110	10,199	4.3

[資料名] 平成 26 年度試験研究成績書  
 [研究課題名] 地域銘柄鶏の飼養管理技術の確立  
 [研究期間] 平成 26 年度  
 [研究者担当名] 平井 久美子